



酒向 弘康 議員

問 「ワンストップ・サービス」構想は

答 利用者の声を聴きすすめる



窓口案内

- 問** 「住民サービス・業務の革新」推進の検討状況を問う。
- (1) 現状の窓口対応の問題点と課題は。
 - (2) 目指すワンストップ・サービス」の定義は。
 - (3) 導入のための環境整備と費用・時間の考え方は。
 - (4) 職員の幅広い業務知識の習得、人材育成、意識改革のすすめ方は。
 - (5) 庁舎内全業務の効率化

- の推進を。
- (6) 職員の知恵やアイデアを住民サービスにつなげていく「業務革新」への思いは。
- 答** (総務部長) (1) 職員が、課単位の守備範囲に固執する傾向があること
- (2) 1カ所ですべてをカバーできる総合窓口と想う。
 - (3) 利用者の声をまず聴き、

- 先進地を視察する。費用対効果面で関連性の高い業務を集約する。
- (4) スタート前から他部署の業務知識の習得研修をおこなう。
 - (5) 行政改革の目的であり、引き続き効率化に努める。
- 町長** (6) スキルの高い若い職員は多い。管理職が、その力を受けとめることにより、若い人を伸ばすと考える。

活かせ「観光資源」

- 問** 観光資源を活用した地域の活性化のための観光行政を問う。
- (1) 観光の現状、観光行政の位置付けと振興計画の状況は。
 - (2) 観光は、全庁的に取り組むべき課題だ。
 - (3) 定着してきた「彦左まつり」など、観光資源化の考えは。
 - (4) 深溝本光寺の文化財は、南部地区活性化の観光資源である。今後の計画は。
 - (5) 町ホームページの「観

各課の連携でPR

- 光」の改善を。
- 答** (環境経済部長) (1) しだれ桜まつりに10・1万人のほか合計約21万人の来場者がある。県策定の観光基本計画を基本としている。
- (2) 各課の連携、観光協会・民間組織のPRで取り組む。
 - (3) 各種のホームページなどの情報発信に加え広く一般公開し、誘客していく。
 - (4) アジサイの時期に合わせ企画展などをおこなう予定。
 - (5) 現在、「自然・環境・産業」から検索するが改善すべき点がある。できるものから改善する。